

令和 7 (2025) 年度 第 7 3 回関東高等学校柔道大会要項

- 1 主 催 関東高等学校体育連盟 関東柔道連合会 東京都教育委員会
- 2 主 管 関東高等学校体育連盟柔道専門部 東京都高等学校体育連盟 (公財) 東京都柔道連盟
- 3 後 援 (公財) 東京都スポーツ協会
- 4 期 日 令和 7 年 5 月 3 1 日 (土) ・ 6 月 1 日 (日) 【開会式は 5 月 3 0 日 (金) 1 5 : 3 0 より】
5 月 3 1 日 (土) 9 : 0 0 男子団体 3 回戦・女子団体 2 回戦まで
6 月 1 日 (日) 9 : 0 0 女子団体 3 回戦・男子団体準々決勝から決勝まで
- 5 会 場 東京武道館
〒 1 2 0 - 0 0 0 5 東京都足立区綾瀬 3 丁目 2 0 - 1
TEL 0 3 - 5 6 9 7 - 2 1 1 1

【交通】 (1) 東京メトロ千代田線綾瀬駅 徒歩約 5 分
(2) 京成タウンバス 「新小 5 1 綾瀬線」 「綾 01 系統」 各系統「綾瀬駅」下車徒歩約 5 分

6 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第 1 条に規定する高等学校 (中等教育学校後期課程を含む) に在籍する生徒であること。ただし、休学中、留学中の生徒を除く。
- (2) 選手は、各都県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、当該競技専門部に登録し、当該競技要項により参加資格を得た者に限る。
- (3) 令和 7 (2025) 年度、各都県柔道連盟の承認を経て、(公財) 全日本柔道連盟に登録した者であることとする。
- (4) 年齢は、平成 1 8 (2006) 年 4 月 2 日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技 3 回までとし、同一学年での出場は 1 回限りとする。
- (5) チームの編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (6) 複数校合同チームの大会参加は認めない。ただし、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の 2 年間に限り合同チームによる大会参加を認める。
- (7) 転校 (転籍) 後 6 ヶ月未満の者は参加を認めない (外国人留学生もこれに準じる)。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各都県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りではない。
- (8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長及び所属高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。
- (9) 関東高等学校体育大会参加資格の特例
ア 上記 (1) ・ (2) に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、都県高等学校体育連盟が推薦した生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。
イ 上記 (4) のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技 3 回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第 7 2 条、1 1 5 条、1 2 4 条及び 1 3 4 条の学校に在籍し、都県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
- (1) 大会参加資格を認める条件
ア 関東高等学校体育連盟の目的を理解し、それを尊重すること。
イ 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢・修学年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
ウ 各学校にあっては、都県高等学校体育連盟の予選会から出場が認められ、関東大会への出場条件が満たされていること。
エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失することなく、運営が適切であること。
- (2) 大会参加に際して守るべき条件
ア 関東高等学校体育大会開催基準要項を厳守し、競技種目大会申し合わせ事項に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
イ 大会参加に際しては、万が一の事故の発生に備えて傷害・賠償責任保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。
エ 感染症防止対策のため、日頃の検温・体調管理に努め、施設利用時は手洗いや手指の消毒に努めること。

(10) 関東高等学校体育大会参加制限

[外国人留学生の出場枠について]

- ア 学校教育法第 1 条に規定する高等学校卒業を目的として入学している生徒であること。
イ 在籍校が、都県高等学校体育連盟に加盟していること。

ウ 年齢は、平成18(2006)年4月2日以降に生まれた者とする。

エ 短期留学は除く。

オ 人数については、男女とも1名以内とする。

7 引率・監督

- (1) 出場チームの選手は、必ず引率責任者によって引率される。引率責任者は選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都県高等学校体育連盟会長へ事前に届け出ること。
- (3) 監督・コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。ただし、各都県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準により限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。

8 参加制限

(1) 【男子】

ア 東京は9校・神奈川・埼玉・千葉は各8校、栃木・茨城・群馬は各7校、山梨は6校とする。

イ 開催地(東京)には、2校を加える。

ウ チーム編成は、監督1名・選手5名(先鋒から軽量級3名・無差別2名)・補欠2名(軽量級1名・無差別1名)の計8名とする。

エ 体重区分は、軽量級73kg以下とする。ただし、補欠の出場は登録した階級に限る。

オ 外国人留学生のチーム人員は1名以内とする。

カ 5名に満たない場合のオーダーは、体重区分の中で後ろ詰めとする。ただし、試合開始時に3人に満たない場合は、試合を行うことはできない。

(2) 【女子】

ア 東京は7校、埼玉・千葉は各6校、神奈川は5校、栃木・茨城・群馬・山梨は各3校とする。

イ 開催地(東京)には、1校加える。

ウ チーム編成は、監督1名・選手3名(先鋒から軽量級2名・無差別1名)・補欠2名(軽量級1名・無差別1名)の計6名とする。

エ 体重区分は、軽量級57kg以下とする。ただし、補欠の出場は登録した階級に限る。

オ 外国人留学生のチーム人員は1名以内とする。

カ 3名に満たない場合のオーダーは、体重区分の中で後ろ詰めとする。ただし、試合開始時に2人に満たない場合は、試合を行うことはできない。

9 試合規定

- (1) 審判は国際柔道連盟試合審判規定(最新版)ならびに(公財)全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。
- (2) 試合時間
ア 第一日目は3分、第二日目は4分とする。
イ 延長戦(ゴールデンスコア方式)は、時間制限を設けない。
- (3) 優勢勝ちの判定基準
「有効」または「僅差」以上とする(「僅差」は指導差2とする)。チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦の判定基準は、10競技方法エに示すとおりとする。

10 競技方法

- (1) トーナメント戦で行い、勝敗の決定は次による。
ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。
イ アで同等の場合は、「一本」勝ちの多いチームを勝ちとする。
ただし、一本勝ちと反則勝ちとは同等とする。
ウ イで同等の場合は、「技有」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
エ ウで同等の場合は、「有効」による勝ちが多いチームを勝ちとする。
オ エで同等の場合は、代表戦を行う。
※代表戦はその対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。
※代表戦における優勢勝ちの判定基準は「有効」または「僅差」以上とする。ただし、本戦において勝敗が決しない場合は、延長戦(ゴールデンスコア方式)を時間無制限で行う。延長戦は、「有効」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了とする。

11 表彰

- (1) 優勝・準優勝・第3位(2校)に賞状ならびに記念品を贈る。
- (2) 優勝校には、優勝旗を贈る。(次回大会開会式に返還)
- (3) 成績優秀校の第5位(ベスト8進出校)4校に賞状を贈る。
- (4) 10回・20回・30回・40回・50回・60回出場校に表彰状を贈る。

12 組み合わせ会議

- (1) 令和7(2025)年5月17日(土)13:00より東京武道館 会議室にて行う。
- (2) 各都県代表委員が内規に基づき、抽選を行う。

13 申込み方法

【個人情報の取扱いについて】

大会参加に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。（詳しくは、「関東高等学校体育大会参加における個人情報および肖像権に関わる取扱いについて」を参照のこと。

(1) 申込み方法

- ア 各出場校は、申込書を3部作成し、1部を出場校の控えとする。
- イ 各都県代表委員は、各出場校からの申込書2部をとりまとめ、1部を各都県高等学校体育連盟で保管し、1部を大会事務局へ簡易書留郵便で送付する（必ず各都県で一括してまとめ、申し込むこと。学校単位での申込みは受け付けない）。
- ウ 各都県代表委員は、大会役員・審判員及び予選順位を記入した申込書を2部作成する。1部を大会事務局に送付（郵送およびメール送信）し、1部を控えとする。
[※メール送信は5月14日（水）12:00まで]
- エ 大会参加料は、各都県で一括してまとめ、大会事務局の銀行口座に振り込む。

(2) 申込み手順および注意事項

- ア インターネット上の大会ホームページ（<http://www.kantohs-judo.jp>）から申込み手順を確認する。必要事項を入力し、申込書を作成する。
- イ ユーザー名とパスワードは、別途出場校に連絡する。
- ウ 申込書作成にPCメールアドレスを用意しておくこと。
- エ 必要事項を入力する際には、入力モード（全角、半角英数字等）に従うこと。
- オ 申込み期限後、インターネット上の申込みページを閉鎖する。

(3) 申込み締め切り

- 5月16日（金）までに必着のこと。
[ネットによる申込み手続きは、5月14日（水）12:00まで：厳守]

14 参 加 料

- 1校 30,000円
(指定の振り込み口座へ5月14日（水）までに振り込むこと)

振込先 三菱UFJ銀行 国立支店 普通 1135072 カネモチ タクミ
第73回 関東高等学校柔道大会実行委員会 委員長 金持 拓身

15 宿 泊

- (1) 宿泊の申込みは、別紙「宿泊要項」による。
- (2) 宿泊料金は、1泊3食 20,250円（税込）～14,500円（税込）を上限とする。
- (3) 選手・監督・役員の宿泊については、必ず大会事務局の指定した斡旋業者を通して申し込むこと。

16 参加上の注意

- (1) 申込参加者に変更が生じた場合は、「選手変更届」を、5月27日（火）までは実行委員会事務局へ、それ以降については、5月30日（金）10時00分～12時00分までに東京武道館内「選手変更受付所」へ届ける。なお、正選手が事故で欠場の場合は、その箇所に各階級にエントリーされた補欠選手を補充し、その後、空位になった補欠の箇所に新たな選手を補充するものとする（補欠の補充は各階級1名までとする）。
ただし、選手変更該当する選手は、大会前から健康管理を徹底すること。
※ 感染症その他天災等による場合はこれを適用しない。その対応として
ア 選手変更の受付時間の変更はしない。
イ 選手変更の補充する人員不足により、出場が不可能な場合は不戦敗となる。
- (2) 計量は、男女とも軽量級に出場する全選手（補欠含め）がチームごと行う。男女とも無差別は計量しない。公式計量は1回のみとする。
- (3) 競技中の選手の疾病・傷病などの応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。なお、選手は「健康保険証」を持参すること。
- (4) 監督は審判員を兼ねることはできない。
- (5) 選手はゼッケンを縫い付けた柔道衣を着用すること。詳細は別に定める。また、紅白の標識紐は、出場校各校で準備願いたい。
- (6) 選手は全日本柔道連盟公認柔道衣、帯を着用すること。（令和3年3月IJF新規定）
- (7) 各都県の登録校のエントリーに欠員が生じた場合は、開催都県で補充できる。
- (8) 選手全員が傷害保険に加入する。（費用は参加者が負担。詳細は別紙「傷害保険加入のご案内」による。）
- (9) 大会参加にあたっては、感染症防止対策として、こまめな手洗いやうがいをするなど、普段から健康管理に努めること。
- (10) 「脳震盪」に関する取扱いは、以下のとおりとする。
 - ①大会1か月以内に脳振盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
 - ②大会中、脳振盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。
 - ③練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
 - ④当該選手の指導者は、大会事務局および全柔連に対して、書面により事故報告書を提出すること。
- (11) 皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感

染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場が出来ない場合もある。

(12) 車で来場する場合は、東京武道館周辺の駐車場（有料）をご利用ください。

17 その他・主な日程

5月30日（金）

9:00～	東京武道館開館
10:00～14:30	練習・アップ（第一武道場・大武道場）
12:00～12:30	男女非公式計量（男子…3階第二武道場・女子…2階大研修室いろ）
12:30～13:15	男女公式計量（男子…3階第二武道場・女子…2階大研修室いろ）
12:00～13:00	委員長会議（2階大研修室は）
13:15～14:00	審判会議（2階大研修室は）
14:00～14:30	監督会議（2階大研修室いろ）各都県男女代表監督1名ずつ
15:00	第一武道場整列
15:15～15:30	入場行進 出場校紹介
15:30～16:30	開会式（大武道場）

5月31日（土）

8:00～	選手・監督入場
8:10～ 8:50	練習・アップ（第一武道場・大武道場） （8:50以降、第一武道場のみアップ会場として開放）
8:50～ 9:00	会場整理
9:00～	男子3回戦まで（大武道場）
11:30～	女子出場校の練習会場への入場 （男子一回戦終了後、第一武道場のみアップ会場として開放）
14:00※～	女子2回戦まで（大武道場）
16:35	※ 女子は14:00より前には始めない 終了予定

6月 1日（日）

8:00～	選手・監督入場
8:10～ 8:50	練習・アップ（第一武道場・大武道場） （8:50以降、第一武道場のみアップ会場として開放）
8:30	審判打ち合わせ
8:50～ 9:00	会場整理
9:00～13:00	女子3回戦・男子準々決勝から決勝まで（大武道場）
13:20～13:50	閉会式（大武道場）
13:50～	会場撤去

【大会事務局及び連絡先】

【事務局及び連絡先】

〒186-0004 東京都国立市中3-1-10 桐朋高等学校内

第73回 関東高等学校柔道大会事務局 金持 拓身

TEL 042-577-2171

事務局（金持）E-mail t.kanemochi@toho.ed.jp

大会ホームページ <http://www.kantohs-judo.jp>

関東高等学校体育大会における個人情報
及び肖像権に関わる取り扱いについて

関東高等学校体育連盟

関東高等学校体育連盟は、大会参加申込書等を通じて取得される個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応します。

1 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い

- (1) 大会プログラムに掲載します。
- (2) 競技会場でアナウンス等により紹介されることがあります。
- (3) 競技会場内外の掲示板等に掲載されることがあります。

2 競技結果（記録）等の取り扱い

- (1) 開催都県各種目専門部の報道・記録係を通じて公開されます。
- (2) 認められた報道機関等により、新聞・雑誌及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (3) 大会プログラム掲載の個人情報とともに、大会本部が作成する大会報告書（以下「報告書」という。）に掲載されます。
- (4) 新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降の大会プログラムに掲載されることがあります。

3 肖像権に関する取り扱い

- (1) 認められた報道機関等が撮影した写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (2) 認められた報道機関等が撮影した映像が中継または録画放映されることがあります。また、DVD等に編集され、配布されることがあります。
- (3) このほか、関東高等学校体育連盟の許可にもとづき、記念写真等が販売されることがあります。

4 開催都県各専門部としての対応について

- (1) 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはありません。
- (2) 参加申込書の提出により、上記の取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして、対応させていただきます。
- (3) 個人情報等の掲載または公開等に関してのご質問は、関東高等学校体育連盟事務局または大会を開催する各都県高等学校体育連盟までご連絡ください。

連絡先・問い合わせ先

関東高等学校体育連盟事務局（群馬県）	027-224-5046
山梨県高等学校体育連盟	055-287-8862
埼玉県高等学校体育連盟	048-822-6792
神奈川県高等学校体育連盟	045-311-8817
千葉県高等学校体育連盟	043-252-1691
東京都高等学校体育連盟	03-5320-7470
茨城県高等学校体育連盟	029-300-5012
栃木県高等学校体育連盟	028-612-5290